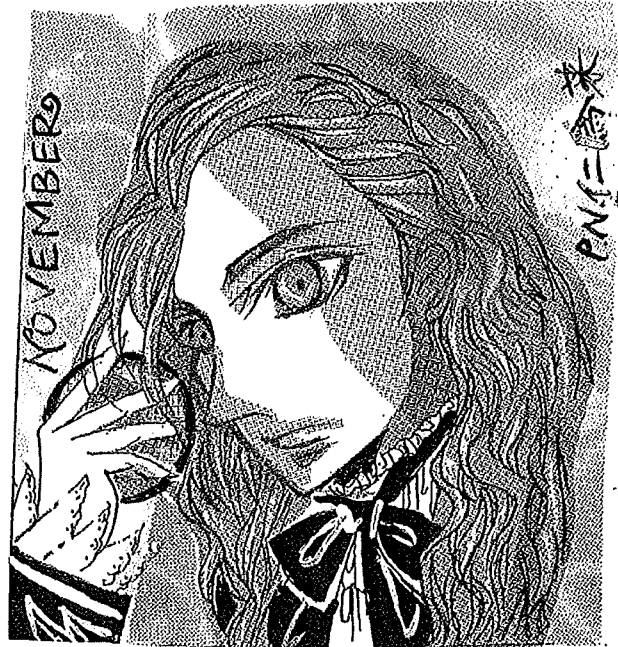


旅立ち

社会福祉法人しらとり会
利用者通信 (NO. 30)
平成 29 (2017) 年 11 月 1 日発行

今月は、4名の方からの投稿です。



落語・相の手都々逸

・「メダカの寿命が伸びました」

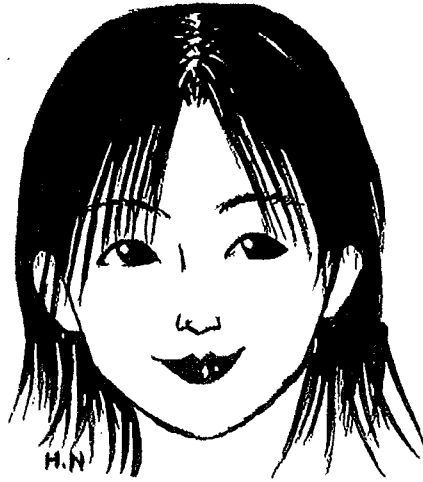
(で、どう成りました?)

「メダカの学校に中学校、高校が出来ました」。

・「ハイエナの寿命が伸びました」

「早く死ぬと、皆から、はいえなくと言われる様に成りました」。

(岡本 祐子)



- 自分を真正面から見つめられる人はほとんどいない。
- 人間誰でも自分が可愛いし自分をよく思いたい。
- そして人の悪い所、できない事を知ると嬉しくさえなる。
- これで心が平静に保てるのは健常者の世界。
- 我々精神障害者はこうは行かない。
- 世界的万能感を持ち、出来ないと言う自分を見つめられなくなり、地から足が離れて宙に浮き心が不安定になり病気が悪化する。
- 世間常識と何が正しいかは必ずしも同じではない。
- 一生懸命に生きていれば向こうから正しい事がやって来る。
- 障害者はまじめに生きるしか道はない。

(加藤忠男)

【投稿の募集】

次回の締切は、11月15日(水)です。

利用者の皆様からの投稿をお待ちしています。

『旅立ち』編集委員：加藤、本川、A-Z、H.A、T、Y.I、Y.Y)